

令和2年度三重県の市町民経済計算のポイント

令和2年度三重県民経済計算の結果を基に、各種の統計数値を基準にした「按分方式」により市町や地域における総生産及び市町民所得の「推計」を行いました。

【推計結果の概要】

1 市町内総生産及び市町民所得の上位5市町

- 市町内総生産は、四日市市が2兆1,317億円で県内1位となり、次いで津市(1兆2,884億円)、鈴鹿市(8,428億円)、松阪市(5,781億円)、伊賀市(5,226億円)の順となりました。
- 市町内総生産の対前年度増加率は県内7市町でプラスとなり、朝日町では情報通信業及び製造業などが増加したことから、15.9%増と最も高い増加率となりました。
- 一人当たり市町民所得では、四日市市(341万8千円)が一人当たり県民所得(294万8千円)を上回り、県内順位は8年ぶりの1位となりました。

(図表1)

順位	市町内総生産 市町 (億円)	対前年度増加率 市町 (%)	一人当たり市町民所得 市町 (千円)
1	四日市市 21,317	朝日町 15.9	四日市市 3,418
2	津市 12,884	四日市市 14.8	いなべ市 3,379
3	鈴鹿市 8,428	御浜町 2.5	川越町 3,344
4	松阪市 5,781	鈴鹿市 2.1	朝日町 3,150
5	伊賀市 5,226	伊賀市 1.8	桑名市 3,117

※本書において、総生産の対前年度増加率は、名目値(時価による表示)の「経済成長率」を表しています。

※本書において、一人当たり市町民所得は、企業の所得などを含んだ市町民経済全体の所得水準を含んだものであり、住民個人の所得や賃金水準を表すものではありません。

2 地域別市町内総生産

- 地域別市町内総生産では、北勢地域で前年度から増加しました。
- 北勢地域では、情報通信業及び製造業などが増加したことから、5.9%増と高い増加率となりました。

(図表2)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
地域別市町内総生産(億円)	45,793	20,131	7,290	7,585	1,932
対前年度増加率(%)	5.9	▲ 2.6	▲ 6.6	▲ 0.5	▲ 8.4

※総生産=産業+輸入品に課される税・関税等

3 地域別一人当たり市町民所得

- 地域別一人当たり市町民所得では、北勢地域(318万4千円)が一人当たり県民所得(294万8千円)を上回りました。

(図表3)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
地域別市町民所得(億円)	26,525	13,898	5,760	4,509	1,503
一人当たり市町民所得(千円)	3,184	2,903	2,526	2,730	2,305
一人当たり市町民所得(全県=100)	108.0	98.5	85.7	92.6	78.2

※(分配)所得=雇用者報酬+財産所得(非企業部門)+企業所得

※一人当たり市町民所得=市町民所得÷市町民人口

注1)各計数は、県民経済計算の結果を按分したものであり、積上計算によるものではありません。

注2)表中の数値は、単位未満を四捨五入したものであり、県全体の総数と地域別の合計とが異なる場合があります。

注3)本書において、単に財産所得というときは非企業部門の財産所得を指しています。